

ぎが11だより



入学おめでとう!

(4月8日 井泉小学校入学式)

新型コロナウイルスを防ぐには

3つの密を避けましょう!

- ①換気の悪い密閉空間
- ②多数が集まる密集場所
- ③間近での会話などの密接場面

【相談窓口】

●新型コロナウイルス感染症に関する相談
 「埼玉県新型コロナウイルス感染症県民サポートセンター」
 電話：0570-783-770
 (24時間対応、土日・祝日も実施)

●風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている方(高齢者や基礎疾患がある方は2日程度)、強いだるさや息苦しさがある方
 「帰国者・接触者相談センター」
 加須保健所
 電話：0480-61-1216
 (平日 8:30 ~ 17:15)

12P	11P	9~10P	3~8P	2P
各常任委員会の経過	審議案件と結果 (令和2年度予算可決)	議案に対する質疑	市政に対する一般質問	令和2年度の市政運営は このように

3月定例市議会

3月定例市議会開く

令和2年度の市政運営はこのように

《誰もが幸せを感じる、住み続けたいまち 羽生》の実現に向けて



河田市長が市政に対する考えを述べる

令和2年3月議会は、2月25日から3月19日までの24日の会期で行われました。

市長からは、新年度の一般会計予算、特別会計予算をはじめとする23議案が提出され、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

また、河田市長は、今期定例会において、令和2年度の市政運営について次のように述べられました。

市政運営方針

国の令和2年度予算は、消費税増税後の景気対策を盛り込み、更に幼児教育・保育の無償化や医療、介護等の社会保障費が膨らんだことにより、一般会計総額で102兆6,580億円と過去最大となりました。

一方、羽生市の一般会計予算においては、引き続き社会保障をはじめとする扶助費などの経常的経費や、公共施設

の修繕費などの臨時的経費が増加し、財政を圧迫しております。その中で、事業の選択、費用対効果を精査し、限られた財源の効率的な配分に努めました。

令和2年度も厳しい財政環境の中での市政経営となりますが、市民生活の安定と活力ある羽生市を築くため、市政運営にまい進してまいります。

令和2年度羽生市一般会計予算は、前年度と比較して4億3,300万円の増額となる185億300万円で過去最大の規模となりました。

第6次羽生市総合振興計画の3年目の年として「誰もが幸せを感じる、住み続けたいまち 羽生」の実現を目指して、次のような実効性のある施策に取り組んでまいります。

第6次羽生市総合振興計画 によるまちづくり

第6次羽生市総合振興計画に掲げた8つの政策に基づいて、次の事業を実施します。

◎政策1 協働・文化

国際交流の推進を図るため、フィリピン・バギオ市の青少年の受入れ、及びバギオ市を訪問する中学生ホームステイ事業を行います。

◎政策2 子育て・教育

全小中学校に高速大容量の通信ネットワークが利用できる環境を整備し、今後4年間で児童・生徒1人1台のタブレット端末を配備します。

◎政策3 福祉・健康

市体育館・中央公園へ指定管理者制度を導入し、サービスの向上と施設運営の効率化を図ります。

◎政策4 安全・安心

ネット119緊急通報システムの整備として、聴覚・言語障がいのある方が、スマートフォン等により簡単な画面操作で119番通報ができるシステムを導入します。

◎政策5 産業・雇用

観光農園等を活用した観光

振興の推進として、羽生水郷公園南側の区域約24ヘクタールにおいて観光農園や高収益作物への転換モデル拠点の形成を図り、観光交流拡大を目指します。

◎政策6 都市基盤

岩瀬土地区画整理事業の整備促進として、商業施設・優良住宅街区等（愛藍タウン）の街開きに向け、道路整備等を行います。

◎政策7 生活環境

清掃センター維持管理事業として、清掃センターの老朽化した焼却設備や汚泥再生処理センターなどの廃棄物処理施設の適正な改修と維持管理を行います。

◎政策8 行政経営

公共施設等総合管理計画の推進のため「公共施設個別施設計画」を策定し、各公共施設の方針性を示し、長期的な財政負担の軽減・平準化を図ります。

市政に対する 一般質問

そこが... 聞きたい



一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。今期定例会では、3月3日、4日、5日の3日間にわたり11人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

フレイル予防について

峯寄 貴生 議員

・質問 フレイルとは「健康」と「要介護」の間にある心身の調子が崩れた状態のことを指し、75歳以上で大きく増加すると言われている。これからは、運動の継続性や食事指導など、幅広くフレイル対策を考えていくことが必要である。そこで、次の点を伺う。

- ①フレイル予防の現状について
- ②食事指導と周知について
- ③持続的な体力維持について

・答弁 (市民福祉部長)

①本市では、週1回の体操で無理なく筋力の維持、向上が期待できる「いきいき百歳体操」を介護予防、フレイル予防の重要な取り組みとして位置付けている。また、身近な集会所で通いやすく、地域と

の交流の場となっていることや、高齢者が陥りやすい症状についての情報提供ができるなど、フレイル予防として様々な要素を含んでいる。そのほか、各公民館で開催している「はつらつ教室」では、簡単な体操や脳トレなどを行



なっている。

②高齢者は、低栄養の傾向が見られ、その結果、フレイルに陥る可能性がある。百歳体操では、適切な食習慣を伝達することを目的に、食生活改善推進員による主食の提供、バランス食の大切さや筋力低下予防について講話を行なっている。また、はつらつ教室では、管理栄養士による食事バランスの基本や高齢期の低栄養についての講話を行なっている。さらに、老人クラブにおいて、高齢者に不足しやすい栄養やバランス食の大切さについての啓発に努めている。

③体力の維持を図るには、運動を継続する本人の意思と、それを支える環境への取り組みが必要である。このため、百歳体操を支えるサポーターの方のフォローアップ講座を開催している。また、運動習慣を身につけることが大切であるため、定期的な体力測定を実施するなど、運動の効果を実感しやすい仕組みを取り入れていきたいと考えている。

その他の質問

・ 地籍調査について

議会の詳細は市議会ホームページをどうぞ

「羽生市ぎかいだより」は、毎年4回開催される定例会ごとに発行しています。詳細にわたって内容をお知りになりたい方は、羽生市議会ホームページをご覧ください。

羽生市議会ホームページでは、市議会の概要をはじめ、定例会や臨時会の本会議で行われた一般質問や議案質疑の内容、政務活動費の収支報告一覧などを公開しております。また、議会のインターネット中継もご覧いただけますので、是非ご利用ください。

議会インターネット中継をご利用ください。

<http://smart.discussvision.net/smart/hanyu/>

こちらのQRコードからもアクセスできます。



防災訓練について

西山 丈由 議員

・質問 次の点を伺う。

①3年間のローリングによる防災訓練の意義と効果及び利根川の氾濫を想定した訓練の実施について

②地区別防災訓練（3年に2回）の充実と活性化について

・答弁（総務部長）
①本市では、毎年の防災訓練の目的及び内容を「自助」「共助」「公助」の3種類ごとに変えて設定し、3年のローリングで実施している。「自助」の訓練では、食料等の備蓄や安否確認の伝達方法などについて周知している。「共助」

の訓練では、近所の助け合いや高齢者・障がい者の支援などについて訓練を行なっている。そして、「公助」の訓練では、3年に一度、総合防災訓練を各種関係団体と合同で実施している。今後訓練内容の充実を図りながら、3年ごとにバランスよく実施していきたいと考えている。
また、令和2年度の総合防災訓練では、昨年の台風19号の教訓を踏まえて、利根川の氾濫による大規模災害の発生を想定した訓練を実施する予



定である。
②近年では、市職員を講師として「イツモ防災講座」、DIG（ディグ…災害図上訓練）やHAG（ハグ…避難所運営ゲーム）といった、ゲーム感

覚の図上訓練を実施している自主防災組織が増えてきている。今後も、これらの訓練の紹介や講師派遣などの支援を行なっていきたい。
③より多くの市民に防災訓練に参加していただけるよう、訓練内容や広報の方法などについて、消防団や自主防災組織、関係団体の方々と検討していきたいと考えている。

その他の質問

・地域子育て支援拠点「こどもひろば」について

子どもの貧困問題について

増田 敏雄 議員

・質問 新たな「子供の貧困対策に関する大綱」について及び親の離婚後の養育費について、次の点を伺う。

①子どもの貧困対策と現状について

②新大綱の推進にあたり、新項目対応策の市としての計画策定について

③離婚後のひとり親家庭の養育費の受け取り状況調査について

④別居親の養育費不払いの場合、市の一時立替払制度の検討について

・答弁（市民福祉部長）

①主な対策として、生活困窮世帯及び生活保護世帯の子ど

もを対象に学習支援事業を実施している。利用者数は、年々増加傾向にある。また、貧困の連鎖を断ち切るための保護者への支援として、就労支援事業を実施している。

②令和2年3月策定予定の



新たな「羽生市子ども・子育て支援事業計画」策定にあたってのアンケート調査では、質問項目の中に、新大綱の指標となっている貧困の状況を把握するための項目を設けた。この結果を受け、計画の柱の一つを子どもの貧困に対する支援の推進とし、経済的に困難なひとり親世帯等に対して、教育や福祉、子育て支援の分野から一体的に貧困対策に取り組む施策を位置付けていきたいと考えている。
③ひとり親等の方に支給する

その他の質問

・上下水道事業について
・成人式について

羽生インターチェンジ前周辺の開発に係る 意思決定や合意形成の進め方について

新井 貫司 議員

・質問 次の点を伺う。

- ①市長の見解について
- ②アフリカ会館建設に関する北萩島開発協議会との話し合いの状況について
- ③県や国の支援が不確かな中で、責任ある事業計画が推進できるのかについて
- ④本市のまちづくりの展望に

ついて

- ⑤国有地の問題について
- ・答弁 ①市長、②③④まちづくり部長、⑤経済環境部長
- ①本市がこれからも持続可能な発展をしていくためには、インターチェンジ前の開発がさらなる本市の活性化に結びつき、将来の子どもたちの希

望や地元企業の発展等につながるかと考えている。また、地権者、地域住民にとって、インターチェンジ前の開発は悲願である。今後ともあらゆる可能性を信じながら、市民のために市政運営に取り組んでいきたい。

- ②会議や打ち合わせ等を行なった実績はない。
- ③アフリカ会館建設の具体的な計画が示されていないため、事業推進の可能性については、答えることができない。
- ④当該地区は、第6次羽生市



羽生インターチェンジ前周辺

総合振興計画において、開発を進める地区として位置付けられている。規模や立地等を考慮すると、市街化区域への編入が必要であり、都市計画法に基づく市街地開発事業な

どが適当であると考えている。
⑤市で把握している国有地の面積は1万4,161・12㎡(約4,284坪)である。これは、民間事業者により測量が実施された際、市に提出された測量図を基に算出した面積である。また、国有地が存在する範囲は、概ねインターチェンジ出口付近から東側部分、加須市との市境までである。なお、測量図には一部水路敷等が含まれていないため、面積については、あくまで目安である。

市道0113号線(南中学校通学路) 工事について

江原 博之 議員

・質問 市道0113号線は、幹線一級市道であるが、道幅も狭く危険な通学路である。

現在は、拡幅工事を行い一部開通の見込みであるが、今後近隣に大型商業施設ができる
と交通量が大幅に増加する
と思われる。さらに、南中学校
北西部の五差路は信号のない

危険な交差点である。そこで、次の点を伺う。

- ①工事全体の予定について
 - ②工事計画を早めることはできないかについて
 - ③危険な五差路交差点のラウンドアバウト化について
- ・答弁 (まちづくり部長)
- ①整備総延長が1kmのため、

平成31年度から令和5年度までの5か年計画となつている。今年度は区間約280m、令和2年度は区間約250m、



市道0113号線

残りの区間約470mを令和3年度から3か年で工事を実施する予定である。

- ②5か年計画としている理由は、大きく2つ要因がある。一つは、毎年の工事実施時期が限られていることである。沿線には水田や水路があるため、工事は稲刈り後から翌年春の渇水期までのおよそ半年間と限定されるため、1回で施工できる量に限界がある。もう一つは、工事費や用地買収、物件移転補償など多額の事業費を要することである。

通学路における安全性向上のため、早期完成に向けて努力していきたいと考えている。
③該当交差点は、岩瀬土地区画整理事業の中で整備することとなっているが、整備の時期は未定である。整備計画としては、幅員8mの道路2路線が交差する十字路の計画であるが、ラウンドアバウトについて今後の検討課題としていきたいと考えている。

その他の質問

・都市公園の管理について

「おとな食堂」への

取り組みについて

野中 一城 議員

・質問 高齢化の進展に伴い、貧困や孤食の状態にある高齢者が増えている。そこで、次の点を伺う。

①ひとり暮らしの高齢者の介護サービスの状況について
②市内で行われている高齢者の集える場所や交流の場の状況について

③「おとな食堂」の開設に対する見解について

・答弁（市民福祉部長）

①主なものとして、デイサービス等の通所サービス利用者が175名、ヘルパー等の訪問サービス利用者が150名、福祉用具の利用者が99名である。

②高齢者の集える場所に関して、生活支援体制整備事業を行なっている。これは、羽生市社会福祉協議会に委託

をしている事業で、高齢者が住み慣れた地域で気軽に集える場を作る取り組みへの支援を目的にしているものである。現在、市内4か所で、拠点といわれる高齢者の居場所が立ち上がっている。また、集会所等で実施している、いきいき百歳体操は、体操のみならず参加者同士が茶菓子を持ち寄って交流し合う

場であり、そういった時間であると認識している。

③「おとな食堂」は、孤食からくる食欲低下や低栄養を防止することに加え、ふれあ



の場として大変貴重な場所であると考えている。現在、市内には「おとな食堂」に該当するものはないと認識しているが、高齢者が自ら食に対する意識、意欲を高めるべく、栄養の知識の普及に引き続き努めていきたい。

他市等で行なわれている「おとな食堂」の状況を把握し、高齢者の地域交流の場の醸成に努めていきたい。

その他の質問

・中学校の部活動について

男性職員の

育児休業取得について

齊藤 万紀子 議員

・質問 次の点を伺う。

①羽生市役所では2018年に初めて男性職員が育児休業を取得したが、なぜそれまでの26年間この制度が男性職員に活用されることがなかったのか

②男性職員の育児休業に関して、どのような啓発に取り組

んできたのか

③今後、男性職員の育児取得率の目標は

④働き方改革として羽生市が今後取り組むことは

・答弁（総務部長）

①以前は、日本の社会全般において育児は女性の仕事という考え方が強かったためであ

ると思われる。

また、ほかの誰も休まないのでは、休みにくいという周囲への配慮や、育児休業制度は、勤務しない期間の給料が支払われない休みであることも大

きな要因と考えている。

②育児休業を含め出産や育児を行う際に取得できる様々な休暇や休業について、要件・期間等を全職員に周知をしてきているため、男性職員も承知しているものと考えている。

③令和2年度より、国が男性国家公務員の育児休業取得を目指す方針を示したことから、羽生市としても100%の取得率を目標とすることを考えている。

④次の4点の取り組みを考えている。(1)育児休業取得の対

象となる男性職員に対して直接個別に取得を促す。(2)職場が育児休業を取得しやすくなるよう、意識改革醸成のための研修を実施し、協力体制に取り組む。(3)部分休業制度と時差勤務制度の有効活用を全職員に対し周知していく。(4)育児休業取得時の減員に対応できるよう、職員配置や組織体制づくりに努める。

その他の質問

・「子どもの権利条約」を踏まえた教育について



食品ロス削減、子ども食堂等への支援について

柳沢 暁 議員

- ・質問 食品ロスの削減の推進に関する法律が施行され、食べ物を無駄にしない意識の醸成やフードバンク活動の支援等を推進することが示された。そこで次の点を伺う。
- ①食品ロス削減推進法の見解と取り組みについて
- ②食品ロスの量と廃棄食品処理費用について
- ③子ども食堂や生活困窮世帯への食材提供支援について
- ④市内業者やNPO法人等の支援団体との連携について
- ⑤食品ロス削減推進計画の策定について

①食品ロスは、廃棄物処理費の負担にもなるため、この法律は、これらの課題を解決するための契機と考えている。本市の取り組みとして、研修会や環境講座を開催し、啓発・周知を図っている。

②市の食品ロスの量は、推計で年間2,773トン、処理費は年間6,930万円を要する計算となる。

③生活困窮世帯等への食材提供は、市社会福祉協議会でフードバンク事業を行なっている。加須市でも2か所である。



フードパントリー事業（食料の寄付を受け必要な団体等へ届ける）を実施しており、状況を聞き、調査研究していく。

④フードバンク事業の充実に向けて、市内企業やNPO法

人等と連携を図り、生活困窮世帯へ食料を提供していきたいと考えている。

⑤基本施策の一つとして、未利用食品を提供する活動の支援を位置付け、フードバンク活動や子ども食堂等の実施主体と連携し、未利用食品の有効活用を促進することを計画に明記していきたいと考えている。

その他の質問

・防犯灯の増設、明るい街づくりについて

ごみ処理行政の

広域化を進めるべき

中島 直樹 議員

- ・質問 現在の清掃センターは、昭和58年に完成、老朽化が進んでいる。21年前には彩北広域清掃組合に加入し、ごみ処理行政の広域化を目指していたが叶わず、単独で現在に至っている。2月の新聞に行田市から広域化の打診があった旨の記事が掲載された。
- そこで次の点を伺う。
- ①焼却施設のこれまでの改修費について
- ②広域処理でのメリットとデメリットについて
- ③単独処理でのメリットとデメリットについて
- ④今後の行田市との話し合いの進め方について

・答弁（経済環境部長）

①改修費は昭和58年から令和元年までの37年間で、総額約38億4,700万円かかっている。

②広域処理のメリットは、財



羽生市清掃センター

政面で建設費、管理運営費を二つの自治体で支えるため、市負担額の削減が期待できる。また、環境面では高度な排ガス処理施設の導入が可能となり、ダイオキシン類の削減効果が期待できる。デメリットは、既存の敷地での建設が不可能なため、土地の取得が必要となる。また、収集運搬の距離延長で、運搬経費等が増加することとなる。

③単独処理のメリット・デメリットについては、広域処理の逆の見方となる。そのほか、

市民のごみの持ち込みの利便性の維持、災害時の対応では、単独処理の方が、柔軟な対応が可能となる。

④本市では、これまで単独処理の選択肢しかなかったが、情勢の変化で広域処理の選択肢も生まれたと判断している。今後は、まず、職員同士で定期的に勉強会を開催し、ごみ処理に関する情報を共有したうえで、経済性も含め、広域化について一緒に検討していくことが望ましいと考えている。

未就学児が日常的に集団で移動する 経路の交通安全の確保について

齊藤 隆 議員

・質問 次の点を伺う。

①未就学児が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検実施要領を基にした安全点検の実施時期及び危険箇所について

②未就学児が日常的に集団で移動する経路の交通安全計画を策定すべきと考えるが、そ

の見解について

③保育園等及び幼稚園を一体的に捉えた「羽生市版キッズゾーン交通安全計画」を策定すべきと考えるが、その見解について

・答弁（市民福祉部長）

①令和元年7月に公立保育所及び民間保育園等に保育中の

散歩コースなど日常的に集団で移動する経路に危険な箇所がないか自主点検とその報告を依頼した。その結果を受け、市、行田県土整備事務所、羽生警察署が合同で安全点検を実施し、12か所の対策が必要な危険箇所が確認された。

これらの危険箇所の対策については、予算を計上して対応していく予定である。

②令和2年度に今回の調査結果を基に市内の保育所や幼稚園など全ての施設に関

する交通安全データベースを構築し、これをもって未就学児の交通安全計画に位置付け

たいと考えている。

③前出の交通安全データベースにキッズゾーン（看板の設置や路面標示でドライバーに注意喚起を促し、重点的に対策を行う地域で小学校の通学路に設けられているスクールゾーンに準ずるもの）も位置付け、羽生市版未就学児交通安全計画としたいと考えている。

その他の質問

・公共工事の施工時期の平準化にむけた取り組みについて

学力向上に向けた 取り組みについて

丑久保 恒行 議員

・質問 次の点を伺う。

①教育現場の現状の把握と分析について

②これまでの授業の改善について

③国語力アップの改善策について

④今後の学力向上に向けた改善策について

⑤ALTの活用について

・答弁（学校教育部長）

①今年度の埼玉県学力・学習状況調査では、全体的に全国平均や県平均を若干下回っている。一方、同調査において計られる学力の伸びは、県と

同等であり、学校の努力が学力の伸びという成果になって表れている。

②今年度、授業改善を目指した取り組みを事例集としてまとめ、各学校で活用している。



③羽生北小学校では、算数の研究で読むという課題解決を目指している。これを国語に変えて研究を始めており、この研究成果を市内各校に広げていく予定である。

④授業改善指針「はにゅうの子」を令和2年度に全小中学校に配布し、授業力の向上を目指す計画である。

⑤市内小学6年生を対象に行なったGTEC junior 2では、聞く力の学校平均が全ての学校で最上位のグレードに達しており、ALTとの

コミュニケーションの成果が表れ始めている。

⑥全国及び埼玉県学力・学習状況調査の狙いは各校の優劣をつけるものではないが、市内各校の相互の実態は把握できている。各校では目標値があり、それを共有化した中で、自校の分析で得られた子どもたちの課題の解決を目指した対策が行われている。

その他の質問

・市内の開発状況と今後について

議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について、質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めるものです。

今期定例会では、次の議員によって行われました。

○議案第1号 令和2年度
羽生市一般会計予算

齊藤 万紀子 議員

岩瀬グローバルスクール事業は、英語教育の特例校に指定されている岩瀬小学校において特別な教育課程を編成し、英語教育を実施するもの。

・質疑 特別な教育課程を編成するとあるが、通常の学校教育とどう違うのか。

・答弁 (学校教育部長)

英語教育を充実するため、学習指導要領等によらない教育課程を編成し、全ての学年で英会話科を新設し、1年生から6年生まで系統的な英語の学習に取り組んでいる。

・質疑 英語に重点をおき、ほかの教科の学習時間が減ることはないのか。

・答弁 (学校教育部長)

英会話科に一部組み替え

市長またはその指名するものなどからなるメンバーで検討する。早期に第1回を開催し、令和2年度中に2回開催し、検討終了を予定している。

・質疑 市民ニーズ等のアンケート調査の内容及び実施方法について

・答弁 (企画財務部長)

市民が望む視点でのアンケートを作成し、対象者1,500人を無作為抽出し実施予定。

その他の質疑

・議案第10号

峯崎 貴生 議員

ネット119緊急通報システム

地域の整備は、音声による119番通報が困難な聴覚・言語障がい者の方が、スマートフォン等の使用により外出先でもインターネット回線を利用した119番通報が可能となる整備を行うもの。

・質疑 システムの詳細について

・答弁 (消防長)

GPS機能付きスマートフォン等で専用サイトに接続し、画面上の簡単なボタン操作により緊急通報を行えるようにするもの。通信エリア内

であれば、外出先からでも通報が可能である。また、GPS機能を活用し通報位置情報が得られ、より迅速で的確な対応が可能となる。

・質疑 周知の方法について

・答弁 (消防長)

関係団体・部署と連携し、利用者に対する説明会の実施や、広報紙等様々な媒体を通じて広く周知していきたい。

野中 一城 議員

第8期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画は、老人福祉法及び介護保険法に基づき、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる社会づくりのため、これまでの施策や実績、課題を踏まえ3年ごとに市が策定するもの。

・質疑 計画の内容及び策定スケジュールについて

・答弁 (市民福祉部長)

現在実施中のいきいき百歳体操などの各事業の今後の方針や、介護人材の担い手の確保など新たな事業の検討を行う。また、7期計画の実績から介護サービス事業所の整備方針を定め、介護保険制度を維持できるように、新たな3年

間の介護保険料を算定する。6月をめどに策定委員会を組織し、7月に関係者団体等へのニーズ調査を実施する。その後、国が示す基本指針案を基に年内4回程度の策定委員会を開催し、翌年1月パブリックコメントを実施、今年度中に策定する予定である。

柳沢 暁 議員

可搬型排水ポンプ車の購入については、市街地での浸水被害を軽減するため、移動可能な排水ポンプとそれを積載する車輛を整備するもの。

・質疑 可搬型排水ポンプ車の性能について

・答弁 (まちづくり部長)

現在、既に所有している可搬型排水ポンプとほぼ同型で排水能力が毎分約6立方メートルである。

・質疑 浸水被害が軽減される地域と効果について

・答弁 (まちづくり部長)

これまでの浸水状況から東7丁目地内の羽生警察署やJAほくさい本店周辺での使用を考えている。効果としては、排水ポンプの移動が可能ならぬ、浸水発生状況に応じ迅速

に排水ポンプ車を配置することができ、早期から浸水への対応が可能となる。また強制排水できるため、浸水する深さの軽減やこれまでより短時間で道路冠水が解消される。

その他の質疑

・議案第8号

○議案第13号 羽生市職員
の失職の特例に関する条例

中島 直樹 議員

職員が禁錮刑以上の刑に処された場合、その職員が地方公務員法第28条第4項の規定により失職となることについて、その刑に係る罪が過失による場合で、その刑の執行猶予の言渡しを受けた者については、情状により、職を失わないものとするができるよう条例を制定するもの。

・質疑 具体的にどういった場合を想定し、情状をどのようにに判断し適用するのか。

・答弁(総務部長)

主に、公務中または通勤途中の交通事故等である。執行猶予期間や過失の程度、被害の大きさ、被害者の理解等総合的に勘案し慎重に判断する。また、個人的、恣意的な

運用にならないよう羽生市職員賠償責任等審査委員会において審議を重ね最終的に判断し厳格な運用を行なってまいりたい。

その他の質疑

・議案第1号

「市長の専決処分事項の指定について」を一部改正

今期定例会において、議員提出議案として上程された「市長の専決処分事項の指定の一部改正」が、全員賛成で可決されました。

近年多発している大規模災害や感染症の蔓延などが発生した場合に、資材価格や人件費の高騰、また、業務に従事する従業員の不足などが懸念されます。万が一、そのような事態が発生しても、市の業務が円滑に進むよう、議会の議決を経た工事等の請負金額の100分の3、かつ、450万円以内の契約変更、及び、1か月以内の工事期間等の延長については、市長の専決処分事項に指定すること等の改正です。

副市長の任命に同意

みえたかゆき
三枝孝之氏が1月31日をも

つて副市長を退職したため、後任として市長から、甲山浩^{こうやま}氏を選任したいとして同意を求められました。

市議会では、適任と認め同意しました。なお、甲山氏は3月19日付で市長から副市長に選任されました。

◆傍聴について◆

羽生市議会では、本会議の傍聴を実施しております。

市役所5階で受付をしていただければ、どなたでも傍聴できます。(一般席48席)

また、常任委員会の傍聴(6席)も実施しておりますので、開催日等をご確認のうえ、お気軽にお越しください。

常任委員会は午前9時30分に開会いたしますので、傍聴を希望される方は開会前にお越しください。

なお、開会後の入退室は休憩中をお願いいたします。

詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。

☎048(561)1121
(内線) 513

6月定例市議会の日程

6月定例市議会は、左記のような日程で予定されています。

月日	曜日	時刻	内容
6月3日	水	午前9時30分	本会議初日(開会)
6月4日	木		議案調査等のため休会
6月9日	火		本会議(議案に対する質疑、市政に対する一般質問)
6月10日	水	午前9時30分	本会議(議案に対する質疑、市政に対する一般質問)
6月11日	木	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
6月12日	金	午前9時30分	本会議(市政に対する一般質問)
6月13日	土		休日のため休会
6月14日	日		各常任委員会
6月15日	月	午前9時30分	事務整理のため休会
6月16日	火		本会議最終日(閉会)
6月18日	木		
6月19日	金	午前9時30分	

※6月定例市議会の日程は、5月29日(金)に開催予定の議会運営委員会で決まりますので、変更になる場合もあります。

ボートレース戸田

県内15市で構成する都市競艇組合の収益金の一部は、毎年構成各市に交付され、市民の皆様の暮らしに役立っています。

◆開催日◆

- 5月22日(金)～25日(月)
【第15回日刊ゲンダイ杯】(都市)
- 5月30日(土)～6月2日(火)
【第5回加藤峻二杯・BOATBoyCUP(戸田)】
- 6月13日(土)～16日(火)
【第11回太田胃散カップ】(都市)
- 6月19日(金)～22日(月)
【第4回週刊大衆杯】(都市)
- 6月24日(水)～29日(月)
【GⅢ企業杯】(戸田)



◆会場◆

- ボートレース戸田(戸田競艇場)

※都市：埼玉県都市競艇組合主催
※戸田：戸田競艇企業団主催

3月定例会 審議案件と結果

●議決結果の公表について

議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

さつき会…さつき 拓政会…拓政 公明党…公明 令和会…令和 日本共産党…共産 無党派…無派

【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠 除斥：除】

議案番号	議案名	さつき		拓政		令和			公明		共産	無派	無派	無派	無派	審議結果
		松本敏夫	丑久保恒行	島村勉	保泉和正	江原博之	西山丈由	増田敏雄	野中一城	齊藤隆	柳沢暁	中島直樹	峯寄貴生	新井貫司	齊藤万紀子	

議員提出議案

議案第1号	市長の専決処分事項の指定の一部改正について	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	原案可決
-------	-----------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

市長提出議案

第1号	令和2年度羽生市一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	欠	○	○	原案可決
第2号	令和2年度羽生市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	原案可決
第3号	令和2年度羽生市中小企業従業員退職金等共済事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
第4号	令和2年度羽生市住宅資金貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
第5号	令和2年度羽生市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	原案可決
第6号	令和2年度羽生市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	原案可決
第7号	令和2年度羽生市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	原案可決
第8号	令和2年度羽生市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	原案可決
第9号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度羽生市一般会計補正予算(第7号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	承認
第10号	令和元年度羽生市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	欠	×	○	○	原案可決
第11号	令和元年度羽生市介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
第12号	羽生市附属機関設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
第13号	羽生市職員の失職の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
第14号	羽生市印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
第15号	羽生市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
第16号	羽生市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	原案可決
第17号	羽生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	原案可決
第18号	羽生市市営住宅管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
第19号	羽生市市営駐車場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
第20号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
第21号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	原案可決
第22号	羽生市教育振興基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	○	○	○	原案可決
第23号	副市長の選任につき同意を求めることについて	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	同意

議長は表決に加わりません。

※島村勉議長は表決に加わりません。

羽生市 中学生議会を開催

令和2年2月5日、羽生市中学生議会が市議会議場で開催されました。

この中学生議会は、未来を担う生徒たちに、議会政治の仕組みを理解してもらい、市政をより身近なものとして関心を持ってもらうことを目的に開催したものです。

当日は、市内3中学校から24名の中学生議員が出席しました。議会は3部構成で、各部ごとに議長を交代しながら議事を進めました。

その中で、9名の議員から一般質問が行われ、中学生議員は、日ごろ疑問に感じていること、これからのまちづくりへの思いなど、さまざまな視点から質問を行いました。これらの質問に対し、市長及び各部長が、市の現状や取り組みを分かりやすく説明しながら答弁を行いました。



各常任委員会の経過

総務文教 委員会

委員会に付託された案件は、議案10件でした。

議案第1号令和2年度羽生市一般会計予算の審査では、衛生費において「清掃センターの整備積立金について、施設の建設費と積立額の目標及び建設に当たり、国からの補助割合、また、単独の場合と広域の場合のランニングコストの比較について何う。」との質疑に対して「建設費は50億円強と見込んでいます。その内20億円を令和10年度までに積み立てることを目標としている。国の補助割合は、60トン規模では3分の1であるが、規模が大きくなれば2分の1となる。人件費等のランニングコストは、規模が大き

くなっても大きく変わることはない。」との答弁がありました。

次に、議案第10号令和元年度羽生市一般会計補正予算第8号の審査では、教育費において「GIGAスクール構想整備事業について、補正予算を組んで実施する理由について何う。」との質疑に対して「国の補助金を活用し、補正予算で対応する場合は、事業費の2分の1の補助金が交付される。令和2年度当初予算での実施では、約1,300万円の市費の持ち出しが生じるため、



補正予算で対応するものである。」との答弁がありました。委員会では、これらの審査の結果、付託議案10件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

都市民生 委員会

委員会に付託された案件は、議案13件でした。

議案第1号令和2年度羽生市一般会計予算の審査では、民生費において「新規事業として、新卒保育士就職準備金貸付事業を実施することのことだが、事業の内容について何う。」との質疑に対して「羽生市に勤務している新卒保育士を対象に、20万円を無利子で貸し付けるもので、埼玉県が15万円、羽生市が5万円を負担するものである。継続して2年間勤務することで返済が免除となる。市内の保育士は、公立・民間ともに不足している状況であり、今後も保育士確保に向けた取り組みを実施していきたい。」との答

弁がありました。

次に、議案第2号令和2年度羽生市国民健康保険特別会計予算の審査では「令和2年度から被保険者証と高齢受給者証が一体化することだが、該当する加入者への送付はいつ頃になるのか何う。」との質疑に対して「令和2年度より、利便性の向上のため1枚のカードとして交付するものである。令和元年度の被保険者証の有効期限を前倒し



て、高齢受給者証の有効期限の7月末日に合わせたため、6月中に発送できるように準備を進めていく。」との答弁がありました。委員会では、これらの審査の結果、付託議案13件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

3月定例市議会傍聴者数

2月25日	0人
3月3日	2人
4日	35人
5日	16人
19日	3人
計	56人でした。
3月9日	0人
10日	1人
11日	0人
12日	2人
計	3人でした。

常任委員会傍聴者数

《議会広報委員会》

- 委員長 島村 勉
- 副委員長 中島 直樹
- 委員 斉藤 隆
- 委員 峯寄 貴生
- 委員 松本 敏夫



「ご意見などを
議会広報委員会まで

☎048(561)1121
(内線) 513